



# 美 唄

B i b a

## 美唄三師会総会

美唄三師会は昭和53年12月13日美唄駅前、南陽軒において設立総会を小原德行先生を議長として開会し、会長に坂田唯祐美唄市立病院院長、副会長に雨田 実美唄歯科医師会会長、林 幸男美唄薬剤師会会長の両氏を選出、三師会員相互の親睦、医療遂行のための相互協力を目的として設立した。役員は会長1名、副会長2名の他に各師会から1名幹事を選出し、計6名をもって会務を遂行すると定めて設立以来、会員の親睦のための囲碁、ゴルフ大会の他に年1回の総会を新年会を兼ねて三師会全員に近い出席のもとに盛会裡に行われていたが、昭和60年頃から勉強会を兼ねるべきではの意見もあって、三師会が3年に一度当番として講師を出して勉強会を会食の前に開催して好評裡に続行している。本年は1月26日ホテルスエヒロバイにおいて行われ、勉強会は歯科当番で歯科選出幹事の平 隆一講師が「歯科における心について」を演題として、心理学的な内容とも言うべき難解な患者心理を短時間のうちに、なんとなく理解させてもらえたような気持ちにさせるあたりさすが道内アイヌ語地名の研究に関する著述も多くその方面のエキスパートとして自他共に許すだけのことはあると思わせる一面を見せてくれた氏のご自重を祈念して止まない。ご苦労さまでした。

(雨田 実記)